



上長渚保育園だより

令和7年1月

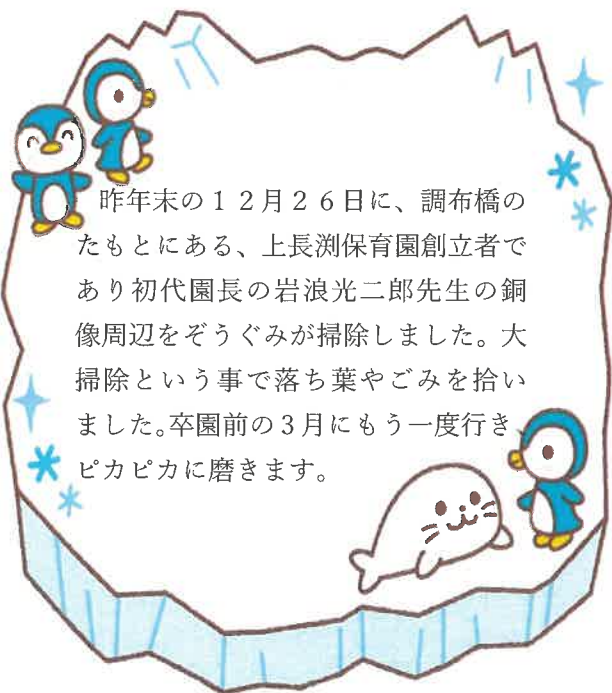
TEL. 0428-23-1569

HP. <https://www.kaminagabuchi.org/>

新年おめでとうございます。皆様には日頃より保育園の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。年末年始はどのように過ごされたでしょうか。のんびりできましたか。また、様々な場所へ出かけたり、いろいろな人と会ったりなど、子どもにとっても大人にとっても、いつもとは違う毎日が続き、楽しくもあり、あわただしい日々もあったかもしれませんね。

1月・2月でひよこ〜きりんぐみの懇談・進級説明会があります。園での様子や進級への事、保護者同士の交流の場となりますので、ぜひご参加ください。

今年度もあと3ヶ月となりました。気持ちを新たに過ごしていきたいものです。よろしく願いたします。



昨年末の12月26日に、調布橋のたもとにある、上長渚保育園創立者であり初代園長の岩浪光二郎先生の銅像周辺をぞうぐみが掃除しました。大掃除という事で落ち葉やごみを拾いました。卒園前の3月にもう一度行きピカピカに磨きます。

早寝早起き朝ごはん

一年の始まりに毎日の生活リズムを再確認してみませんか。

食事・睡眠・活動(遊び)は、丈夫な体をつくります。簡単な食事で大丈夫なので、朝食をとり、体を目覚めさせてから登園しましょう。

また、たくさん体を動かすことで脳も刺激され、様々な発達を促す手助けとなります。

お願い

※着替えの衣類や防寒用の上着など、持ち物には名前を記入しましょう。文字が薄くなっていないか確認もお願いします。



食農だより

令和6年度 1月号
社会福祉法人 上長渚保育園
文責: 園長 田中伸佳
[WWW.kaminagabuchi.org/](http://www.kaminagabuchi.org/)

新年あけましておめでとうございます。昨年度は本園の「食育・食農活動」にご理解とご協力を頂き、深く感謝しております。残念ながら親子収穫体験につきましては日程調整がうまくつかず実施することができませんでした。親子収穫体験を楽しみにしていた方々に、深くお詫び申し上げます。

しかしながら、園児たちの「おでんダイコンや聖護院カブ・サツマイモ」の収穫体験は例年と比較し数多く実施することができました。ご自宅にお持ち帰られたおでんダイコンや聖護院カブ・サツマイモはいかがでしたか？

令和7年度も「食育・食農活動」がより充実した活動が展開できるよう準備を進めてまいりますので、なにとぞご理解とご協力をお願いいたします。

さて、令和6年度の「のらぼう菜」の植え付けは昨年度より少し遅れての苗の移植になってしまいました。これは、多くの苗が「種」からの栽培が影響しているようです。

この「のらぼう菜」は、天明の大飢饉ならびに天保の大



飢饉の際、人々を飢餓から救ったと伝わっている葉物の野菜で、あきる野市で多く栽培され、茹でてからの触感が大変良い葉物野菜です。昨年と比べ、苗はまだまだ小さい状況ですが、寒い中順調に育っています！

このまま順調に育っていけば、3月中旬に園児たちの「のらぼう菜」の収穫体験ができそうです。ご家庭にもお子さんが収穫した「のらぼう菜」をお届けできるよう努力してまいります。

現在畑では、夏野菜の準備をしています。まずは園児たちに「じゃがいも」の種イモの植え付けの計画を展開するために、ダイコンやサツマイモを育てた畑をトラクターで十分耕耘し、EM酵母菌が入った肥料を散布しています。これで令和7年度も、大きくて美味しい「じゃがいも」が育つことと思います。

さて、5歳児「ぞう組」で12月に予定していた「一食作り」は感染症予防のために延期をしていましたが、1月24日(金曜日)に開催する運びとなりました。畑で収穫した野菜を使用した「一食作り」となる予定です。

